

Y01a すばる望遠鏡ウェブサイトへのアクセス解析 1. 概要と時間変動

藤原 英明、林 左絵子 (国立天文台)

すばる望遠鏡ではウェブサイトを運営し、すばる望遠鏡での観測成果やアクティビティの情報発信を行っている。このウェブサイトがどのように活用されているかを知る手がかりを得るために、我々はアクセスログを集計し、どのようなアクセスが行われているかを、アクセスされた時刻や情報、接続元の場所等の観点から調べている。本講演では、主にすばる望遠鏡ウェブサイトへのアクセスの概要と時間変動の傾向について報告する。

2003年9月にウェブサイトの大リニューアルが行われて以降、1日当たりの訪問者数はおよそ3000~4000人程度で、ページビューはおよそ15000~20000程度で推移している。したがって、訪問者一人当たりの平均ページ閲覧数はおよそ5ページ程度であることが推測される。

時間変動についてみると、まず1日の中では、ハワイ時間で5時~14時(日本時間で0時~9時)のアクセスが少なく、一方でハワイ時間で14時~5時(日本時間で9時~24時)のアクセスが多い。これは日本からの閲覧者の生活時間帯を反映しているものと考えられる。また1週間の中では、曜日ごとにそれほど大きな変動はないが、ハワイ時間で金・土曜日(日本時間で土・日曜日)のアクセスが微減する傾向が見られる。

すばる望遠鏡についての情報発信は主にウェブサイトからなされているが、新しく発信した情報を多くの人にできるだけ早く読んでもらうためにも、トラブルが生じた際のリスク管理という側面でも、ウェブサイトにおけるコンテンツ更新のタイミングは重要である。アクセス解析により得られた手がかりを元に、今後より効果的な情報発信を行うための工夫に役立てたい。